

みやぎSDGs Farm

活動レポート

第13号

2023年2月26日(日)

発行：河北新報社営業局
特別協力：SDGsとうほく



構造の大部分が紙製の組み立て型仮設トイレ「ほぼ紙トイレ」について、フクダ・アンド・パートナーズの加藤祐さん(右端)から説明を受けました

河北新報社本社を出発したバスが最初に向かったのは、フクダ・アンド・パートナーズが2022年4月にJR太子堂駅前開設した「仙台長町未来共創センター」です。平常時には建

防災機能を備える オフィスビルを見る

防災と復興の取り組みから学ぶ

「みやぎSDGs塾」では1月27日に研修バスツアーを実施し、防災機能を備えたオフィスビルや東日本大震災で被災した仙台国際空港などを訪れ、災害と復興について考え学び合いました。

建設、流通業などの事業所や保育所などが入るオフィスビルですが、停電時にも電力を維持できる発電システムのほか非常食や仮設トイレなどを備える防災施設としての機能を持ち、災害時には帰宅困難者の一時滞在場所として活用されます。施設を訪れた参加者は担当者の案内でビルの内外を歩き、200人・3日分の食事をまかなう備蓄食糧や、構造の大部分が紙製の「ほぼ紙トイレ」、電気自動車への充電だけではなく電気自動車からビルに電力を供給することもできる「V2Xシステム」などを視察しました。

施設見学に続いて、同センターの千葉真紀子センター長が施設の狙いについて紹介。「日中使用電力の25%を屋上のソーラーパネルでまかなう」「テナントに供給する電気はすべて再生エネルギー由来などSDGsの観点から注目すべきポイントも多く、参加者はメモを取りながら千葉さんの話を傾けました。

次なる災害に備えた 仙台空港の取り組み

その後一行はバスで南下し、仙台国際空港へ。空港内で東北6県の食材を



仙台国際空港内の会議室で、メモをとりながら同空港の事業継続計画(BCP)についての説明を聞く参加者

生かした料理を提供する「エアポートレストラン・トレジオンギャラリー」で昼食をとりました。

食事後は空港内の会議室に。東日本大震災時の空港の被災状況や運用再開までの経緯、さらに現在に至るまでの災害対策の仕組みづくりや事業継続計画(BCP)について、仙台国際空港安全推進室の渡部志織さんから話を伺いました。

仙台国際空港では、大きな災害が起きた際に空港利用者10000人、空港スタッフ6000人、周辺住民(岩沼市、名取市)4000人の合計20000人がターミナルビル内に最大3日間滞留することを想定した防災計画を作っています。また、発災時にスムーズな対処ができるよう、定期的な避難誘導訓練や、空港関係者の連絡網の整備、備蓄品の点検などを実施しています。

参加者は、災害時のスタッフ同士の情報共有の方法についてなど、具体的な質問を投げかけていました。その後、ガイド付特別コースとして滑走路周辺をバスで巡りました。航空機の安全運行のための施設や着陸の様子などを間近に見学できました。

被災地に生まれた 地域活性化の拠点

この日のツアーで最後に訪れたのは、仙台市若林区の「アクアイグニス

参加者の声



ワコーファースト商事 若生有加さん

自社の事業に生かせるヒントも

「仙台長町未来共創センター」は、いま求められているものを徹底的に追求して形にした素晴らしい施設だと感じました。今日の見学で得られたヒントを、今後の自社の商品開発にも大いに生かしたいと思います。

みやぎSDGs塾って？

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の考え方を軸に企業や個人が協力体制を築き、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成し、2021年11月～2022年9月に実施された第1タームでは、42人の「アンバサダー」を輩出しました。

参加はこちらから！

みやぎSDGs Farm 賛同企業 募集中!! 公式HP QRコード [申し込み・問い合わせ] 河北新報社営業局 TEL/022-211-1318 MAIL/koukoku@po.kahoku.co.jp

「アクアイグニス仙台」内で地元産の農産物や加工食品などを中心に販売する「マルシェリアン」の伊藤朗マナーシャに生産者の思いなどについて話を聞いた参加者は、「商品の背景を知るとワクワク感が増して買いたくなる」と話し、同店での買い物を楽しんでいました。SDGsにつながるこの日の全行程を通じて、東日本大震災の被害と教訓、復興に向けた努力や次の災害に向けた取り組みを現場で体験した参加者は、「各社の防災対策について学んだことで、自分たちができることを考える機会になった」「仙台国際空港の防災体制を参考に、自社の課題をあらためて議論してみたい」と感想を話しました。参加者一人一人にとって今後の仕事や生活を見直すきっかけとなったようです。



仙台国際空港内を巡るガイド付特別コースでの集合写真。空港の職員の方々の思いを感じることができました

第2ターム参加者(敬称略)

【あすなる学院】佐々木慶太、齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森文広【いなか道の駅やしまや】八島哲郎【H.Simple Design Studio】小山田陽【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騒】加藤貴伸【コカ・コーラ ボトラーズジャパン】遠藤巧【コスモ警備】佐藤裕樹【スイコー】斉藤綾子、赤根早咲【スタイルズグループ】千田佳子【竹鶏ファーム】赤利利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大【チャレンジドジャパン】庄子早紀【フクダ・アンド・パートナーズ】千葉真紀子、加藤祐、阿部真美【宮城県民共済生活協同組合】多勢剛、関口拓真、細川薫、相澤貴洋、松田唯花、鈴木崇史【ミライトス】鈴木圭介【リコージャパン】内山直人、工藤千穂、岸くるみ【ワコーファースト商事】若生有加【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【学生】小宮山岬希、菅井百花、宇佐美綾野【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

宮城県民共済 SUIKOO DNP 大日本印刷 日本製紙株式会社 みやぎ生協 RICOH imagine. change. リコージャパン株式会社 F&P フクダ・アンド・パートナーズ あすなる学院 エントワデザイン Coca-Cola BOTTLERS JAPAN INC. コスモ警備株式会社 STYLES GROUP 竹鶏ファーム チャレンジドジャパン 蜂屋食品 ミライトス株式会社 いなか道の駅 やしまや 株式会社ワコーファースト商事 荒町商店街振興組合 YES工房 H.Simple Design Studio オフィス塩騒 WACO CREATE 千葉よかこ 特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA 東北 尚綱学院大学SDGsアクション委員会